

— 低騒音工法協会 —

SJS-H工法は、老朽化した伸縮継手を交換する工事において「低騒音・低振動」を実現し夜間での施工を可能にした工法です。

2006年施工開始以来、阪神高速道路や福岡・北九州高速道路の都市高速道路や重交通の路線で採用を頂いております。

SJS-H工法のさらなる普及を目的として2006年に「低騒音工法協会」を設立致しました。

低騒音工法協会は【低騒音・低振動の更なる追求】【施工時間の一層の短縮】を目指し道路管理者様の各種要求に対応できるよう施工技術の発展に努めて参ります。是非とも低騒音工法協会にご用命賜りたく宜しくお願い申し上げます。



SLA = **S**ilence **L**ink **A**ssociation (静音でつなぐ技術の協会)

3本線は「伸縮継手・構造の一体化・安定施工」
円形は協会としての「信頼性と統一基準」を象徴
静音で確実な施工技術を社会に提供することを表しています。



伸縮継手撤去 SJS-H工法 低騒音工法協会

Silence
Joint Slice

<http://www.teisouon.com/>



正会員

日本鉄塔工業株式会社
〒136-0075 東京都江東区新砂1-6-27
新砂プラザ
<http://www.jsteam.jp/>

株式会社A' i (エーアイ)
〒120-0011 東京都足立区中央本町2-25-5
クレーンパレス102号室
<http://www.ai-corporation.tpkyo/>

ナガタ工業株式会社
〒607-8234 京都市山科区勸修寺南大日町7
<http://www.nagata-kogyo.co.jp/>

賛助会員

株式会社ノリタケマシンテクノ
〒202-0014 東京都西東京市富士町2-13-17
<http://www.noritake-mt.jp/>

低騒音工法協会

— 未来につなぐ 環境にやさしい技術 —

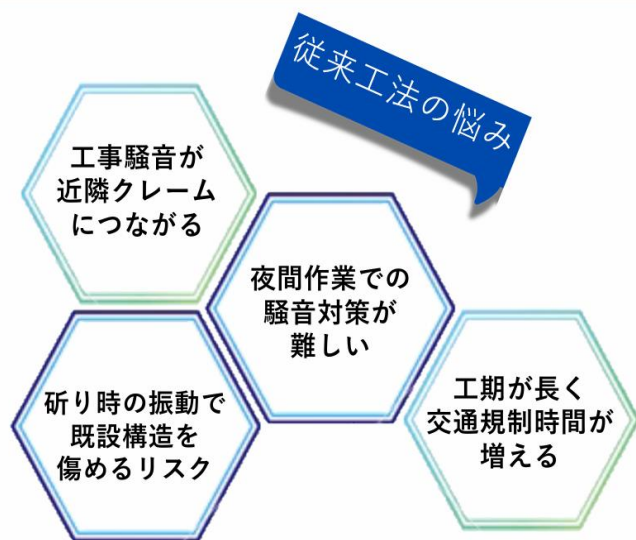
伸縮継手撤去
SJS-H工法



－低騒音工法とは－

従来工法は

舗装と後打ちコンクリートの境界部をコンクリートカッターで切断し、ブレーカー等で既存のコンクリートを研り取り除き、伸縮継手をガス切断作業等で撤去します。



【従来工法に比べ、騒音・振動を低減】

本工法では、専用機材や開発した施工技術を実施することで従来工法と比較して騒音・振動レベルを低減します。

重機作動音・打撃音を抑制



地盤や周辺構造物への振動影響を軽減



近隣住民・施設へのストレスを最小化



騒音レベルを最大70dB台まで低減

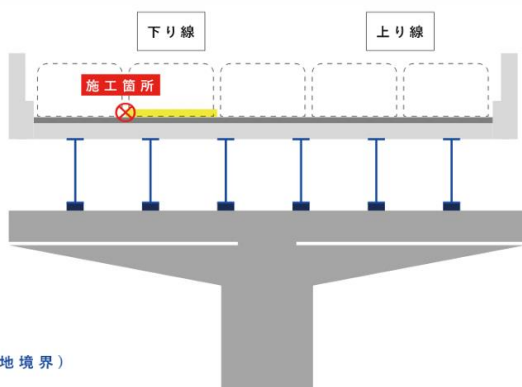


●騒音レベル (値単位)

工種	測定	測定1	測定2	測定3
コンクリートカッター		70～83	66～77	56～67
コアドリル		61～72	59～71	53～62
電動ハンマードリル		68～80	65～76	57～66
ワイヤーソー		61～70	62～68	55～61

●作業音測定概要

床版	桁	遮音壁	伸縮継手種別
RC床版	鋼桁	あり	鋼製ジョイント



測点3

53m (50m)

測点2

21m (16m)

測点1 (敷地境界)

11m (4m)

カッコ内は水平距離

【都市部で夜間施工を可能にする環境配慮型の撤去工法】

低騒音・低振動のため住宅密集地・商業施設周辺

病院・学校近隣などで特に有効な工法です。

環境配慮が求められる現場でも施工が可能になり

周辺環境と共存しながら、工程管理の効率化により

スムーズな施工を実現します。

都市部の狭小地・
交通量の多いエリアに対応



夜間・早朝施工にも適応

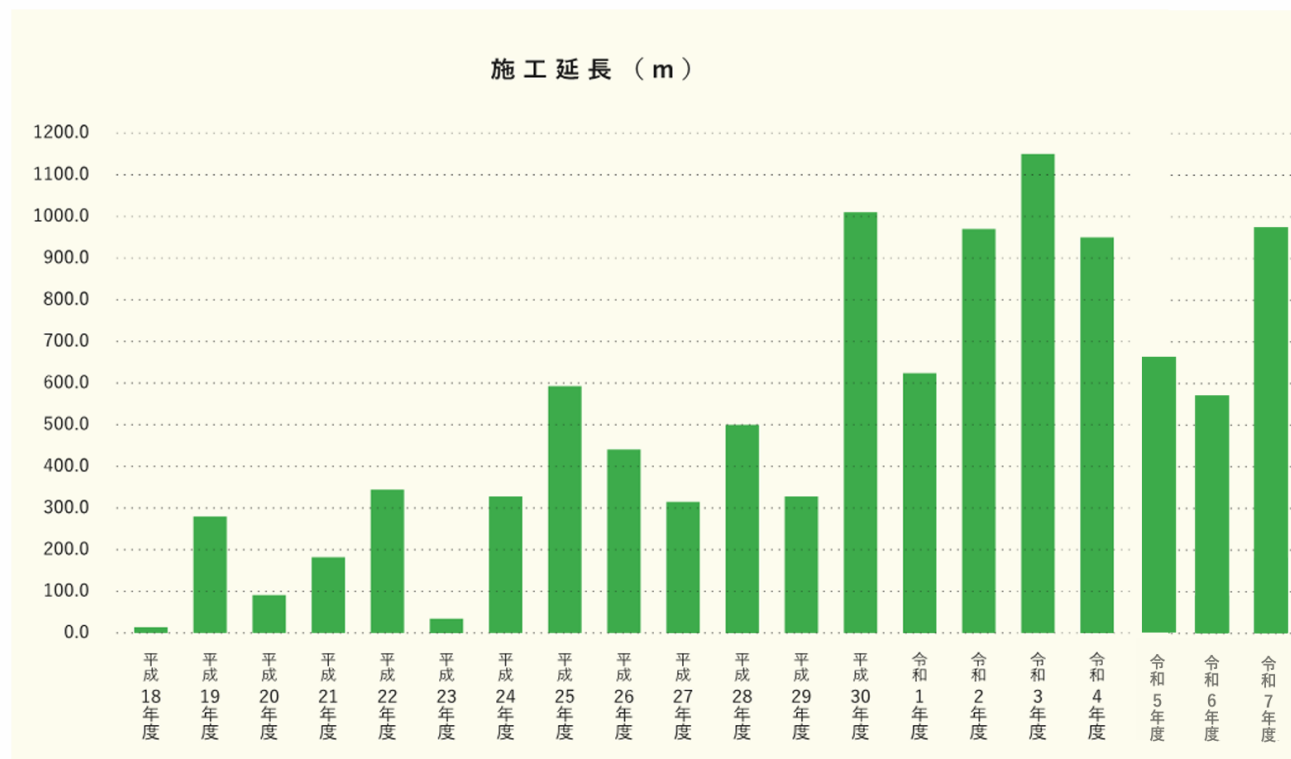


施工時間の目安

簡易鋼製伸縮継手撤去→約7時間程度

フィンガージョイント撤去→約10時間程度

－施工実績－



累計実績 20年間で10,000m以上の施工実績
(2006年～2025年まで)

－SJS-H工法の特長－

コンクリートブレーカーを使用しない低騒音・低振動

- ・低騒音で夜間施工が可能（交通事情への対応）
- ・低振動の為、学校・病院等の公共施設周辺でも施工が可能
- ・残存床版コンクリートにマイクロクラックの発生を抑制

乾式ワイヤーソーを使用

- ・空気冷却による乾式ワイヤーソー工法
- ・切断時発生する汚泥水、粉塵を最小限に抑える



様々な伸縮継手に対応可能

- ・ゴムジョイントから鋼製ジョイントまで対応可能
- ・撤去深さは250mmまで可能（大型ジョイントの撤去も開発中）
- ・仕上がり面が平滑になり後工事がスムーズに進む



交通規制条件に合わせて分割撤去が可能

- ・現場条件（時間）に合わせた分割撤去



導入効果

騒音トラブルの防止

都市部・近隣住宅地での施工が可能につながる

3つのつながる

道路規制への柔軟な対応

交通規制の時間短縮により渋滞対策や管理者負担の軽減につながる

ライフサイクルコスト削減

切断精度が高く後工程の品質向上につながる
→ 長寿命化に寄与

環境と調和する低騒音工法